

## 2. H 1 6 年 度 主 な 事 業

平成16年度は、4つの目標達成のため、次の主要事業を行います。

### 『自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり（活力）』

#### 【平成16年度の完成・供用、新規事業】

（直轄事業）

○那覇港トランシップ港湾の実現による国際競争力の向上、物流機能の効率化を図るため、「国際海上コンテナターミナル」の**完成**を目指します。

（P21）【港湾】

○中城湾港へのアクセス強化及び石川市内の交通混雑の解消を図る、「一般国道329号石川バイパス」の「全線の4車線化」を目指します。

（P22）【道路】

○石川市の中心市街地である石川地区において、快適な歩行空間の確保、景観及び防災性の向上として、電線共同構の工事に**新規**に着手します。

（P23）【道路】

○主要な観光地である首里城公園にて、沖縄の歴史・文化に関する知識の更なる普及啓蒙を促進するため、「書院・鎖之間」の整備に**新規**に着手します。

（P24）【公園】

（補助事業）

○主要な観光地である読谷村の海洋性リゾート拠点である宇座海岸にて、観光資源の質及び利便性の向上を図るための「海岸環境整備事業」の**完成**を目指します。

（P25）【海岸】

○浦添南第一土地区画整理地区の主要幹線となり、浦添市内の慢性的な渋滞緩和を図る「国際センター線」の整備に**新規**に着手します。

（P26）【道路】

○豊見城市のスポーツ・レクリエーションの拠点となる「豊崎総合公園」の整備に**新規**に着手します。

（P27）【公園】

## 【 継 続 事 業 】

H 1 6 年度以降の主な継続事業は、**直轄 1 3 事業、補助 1 6 事業。**

(主要事業リスト P 5 0 ～ 5 1 参照)

- 代表的な継続事業
- |      |                                   |
|------|-----------------------------------|
| 直轄事業 | 一般国道 5 0 6 号豊見城東道路 (P 2 8)        |
|      | 那覇港那覇ふ頭地区臨港道路・沖縄西海岸道路 (P 2 9、3 0) |
| 補助事業 | 一般国道 5 0 7 号津嘉山バイパス (P 3 1)       |

## 【 成 果 ( 指 標 ) 】

事業・施策により目指すべき成果(指標)を以下に示します。

なお、H 1 6 年度目標の提示は、H 1 7 年度の概算要求公表時等に併せて行います。

| 【 指 標 】                                | H14 (実績)   | H15 (見込)   | H19 (目標)   |
|----------------------------------------|------------|------------|------------|
| 道路渋滞による損失時間                            | 62百万人・時間／年 | 61百万人・時間／年 | 59百万人・時間／年 |
| 沖縄都市モノレール利用客数                          |            | 31,350人／日  | 35,400人／日  |
| 日常生活の中心となる都市まで、30分以内で安全かつ安定的に走行できる人の割合 | 64%        | 67%        | 78%        |
| 道路上において行われる工事(路上工事)に伴う年間の交通規制時間        | 621時間／年    | 590時間／年    | 約2割削減      |
| 復元・創出された砂浜の面積                          | 約60ha      | 約70ha      | 約90ha      |
| 沖縄の港湾への大型クルーズ船の寄港回数                    | 約80回       | 約80回       | 約120回      |
| 都市公園の整備                                | 7.3㎡／人     | 8.0㎡／人     | 約12㎡／人     |

(注) 指標の達成状況に関する注釈

| 【 指 標 】                                   | 注 釈                                               |
|-------------------------------------------|---------------------------------------------------|
| 道路渋滞による損失時間(百万人・時間／年)                     | 達成度報告書の公表(H16.6予定)に向け算出中であり、H15.9時点(業績計画書)における目標値 |
| 日常生活の中心となる都市まで、30分以内で安全かつ安定的に走行できる人の割合(%) | 達成度報告書の公表(H16.6予定)に向け算出中であり、H15.9時点(業績計画書)における目標値 |
| 道路上において行われる工事(路上工事)に伴う年間の交通規制時間(時間／年)     | 達成度報告書の公表(H16.6予定)に向け算出中であり、H15.9時点(業績計画書)における目標値 |

## 『安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり（安全）』

### 【平成16年度の完成・供用、新規事業】

#### （直轄事業）

○異常気象時の事前通行規制区間解除に向けた越波対策、法面防災対策等を実施する  
「宇良拡幅」事業の**完成**を目指します。（P32）【道路】

○安定した水資源を確保するとともに、ダム下流の洪水被害の軽減等を目的とする  
「羽地ダム」の**完成**を目指します。（P33）【河川】

○危険箇所である一般国道58号の座津武トンネルを回避する別線トンネルを整備する  
「座津武防災」に**新規**に着手します。（P34）【道路】

○一般国道329号「石川地区電線共同溝」事業（再掲）

#### （補助事業）

○伊平屋島のシチフ川において安定した水資源の確保とダム下流の洪水被害の軽減等を目的とする「我喜屋生活貯水池」の**完成**を目指します。（P35）【河川】

○久米島町の儀間川等において、安定した水資源の確保とダム下流の洪水被害の軽減等を目的とする「儀間川総合開発事業（儀間ダム・タイ原ダム）」を**新規**に着手します。

（P36）【河川】

### 【継続事業】

H16年度以降の主な継続事業は、**直轄10事業、補助15事業**。

（主要事業リスト P51～52参照）

※上記事業数は、「自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり」の継続事業として掲げた事業は除いております。

|           |      |            |       |
|-----------|------|------------|-------|
| ●代表的な継続事業 | 直轄事業 | 大保ダム       | （P37） |
|           |      | 那覇第2地方合同庁舎 | （P38） |
|           | 補助事業 | 比謝川改修      | （P39） |

## 【 成 果（ 指 標 ） 】

事業・施策により目指すべき成果（指標）を以下に示します。

なお、H16年度目標の提示は、H17年度の概算要求公表時等に併せて行います。

| 【 指 標 】                                  | H14（実績）         | H15（見込）         | H19（目標）         |
|------------------------------------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| ダムによる安定供給可能人口                            | 約84万人           | 約84万人           | 約88万人           |
| 洪水氾濫防止のために整備された河川の延長の割合                  | 約56%            | 約58%            | 約64%            |
| 床上浸水を緊急に解消すべき戸数                          | 約42戸            | 約42戸            | 約0戸             |
| 土砂災害から保全される戸数、<br>うち災害弱者関連施設数            | 約7,400戸<br>14施設 | 約7,400戸<br>14施設 | 約7,700戸<br>21施設 |
| 津波、高潮による災害から一定の水準の安全性が確保されていない地域の面積      | 約2,600ha        | 約2,500ha        | 約2,000ha        |
| 沖縄における耐震強化岸壁の必要量に対する現況の割合                | 20%             | 20%             | 40%             |
| 重要港湾において不正進入を防止する施設を完備している外航船用の公共港湾施設の割合 | 0%              | 0%              | 100%            |
| 沖縄本島における台風等による通行規制で孤立する人口                | 2,600人          | 2,100人          | 1,900人          |
| 道路交通における死傷事故率                            | 69,3件／億台<br>キロ  | 68件／億台キ<br>ロ    | 約1割削減           |
| 規格の高い道路を使う割合                             | 6%              | 6%              | 7%              |

（注）指標の達成状況に関する注釈

| 【 指 標 】                      | 注 釈                                               |
|------------------------------|---------------------------------------------------|
| ダムによる安定供給可能人口                | 羽地ダムなどの整備を進めているが、事業が完了するまでは効果が発現しない。              |
| 床上浸水を緊急に解消すべき戸数              | 比謝川で暫定改修を進めているが、一連の区間が完了するまでは効果が発現しない。            |
| 土砂災害から保全される戸数<br>うち災害弱者施設数   | 津花波地区などの砂防等事業を進めているが、一連の施設が完成するまで効果が発現しない。        |
| 沖縄本島における台風等による通行規制で孤立する人口（人） | 達成度報告書の公表（H16.6予定）に向け算出中であり、H15.9時点（業績計画書）における目標値 |
| 道路交通における死傷事故率（件／億台キロ）        | 達成度報告書の公表（H16.6予定）に向け算出中であり、H15.9時点（業績計画書）における目標値 |
| 規格の高い道路を使う割合（%）              | 達成度報告書の公表（H16.6予定）に向け算出中であり、H15.9時点（業績計画書）における目標値 |

## 『沖縄特有の豊かな自然環境の保全・創出（環境）』

### 【平成16年度の完成・供用、新規事業】

（直轄事業）

○沖縄市与儀等における沿道環境の改善として、**騒音低減**を目的とした「**低騒音舗装**」工事に**新規**に着手します。  
（P40）【道路】

○地球環境への負荷を低減するため、**那覇第1合同庁舎**において太陽光発電設備の設置、**石垣港湾合同庁舎**においては、空調及び照明の制御を図る「**官庁施設のグリーン化**」の整備に**新規**に着手します。

（P41）【営繕】

（補助事業）

○年々深刻化する廃棄物処理問題に対応するため、港湾の適正な利用と整合を図りつつ**那覇港**の「**廃棄物埋立護岸**」の整備に**新規**に着手します。

（P42）【港湾】

○宇座海岸環境整備事業（再掲）

### 【継続事業】

H16年度以降の主な継続事業は、**直轄3事業、補助6事業**。

（主要事業リスト P52～53参照）

※上記事業数は、「自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり」、「安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり」の継続事業として掲げた事業は除いております。

●代表的な継続事業 補助事業

**中城湾南部流域下水道**

（P43）

## 【 成 果（ 指 標 ） 】

事業・施策により目指すべき成果（指標）を以下に示します。

なお、H16年度目標の提示は、H17年度の概算要求公表時等に併せて行います。

| 【 指 標 】                             | H14（実績） | H15（見込） | H19（目標） |
|-------------------------------------|---------|---------|---------|
| 下水道処理人口普及率                          | 58%     | 60%     | 65%     |
| 砂防施設により赤土砂等流出を軽減する箇所数               | 7箇所     | 7箇所     | 8箇所     |
| 失われた自然の水辺のうち、回復可能な自然の水辺の中で再生した水辺の割合 | 約25%再生  | 約30%再生  | 約40%再生  |
| 夜間騒音要請限度達成率                         | 91%     | 92%     | 94%     |
| サンゴ礁と共生する砂防堤の整備延長                   | 約930m   | 約1,110m | 約1,710m |
| グリーン改修達成度                           | 31%     | 31%     | 33%     |
| 平成17年度目標建設発生土有効利用率                  | 78%     | 78%以上   | 80%以上   |
| 平成17年度目標アスファルトコンクリート塊再資源化率          | 92%     | 92%以上   | 98%以上   |
| 平成17年度目標コンクリート塊再資源化率                | 96%     | 96%以上   | 96%以上   |

（注）指標の達成状況に関する注釈

| 【 指 標 】               | 注 釈                                               |
|-----------------------|---------------------------------------------------|
| 砂防施設により赤土砂等流出を軽減する箇所数 | 平良川砂防事業を進めているが、一連の施設が完成するまで効果が発現しない。              |
| 夜間騒音要請限度達成率（%）        | 達成度報告書の公表（H16.6予定）に向け算出中であり、H15.9時点（業績計画書）における目標値 |

## 『特性を生かした安らぎと活力ある地域づくり（暮らし）』

### 【平成16年度の完成・供用、新規事業】

#### （直轄事業）

- 一般国道329号「石川地区電線共同構」事業[再掲]

#### （補助事業）

- 沖縄本島北部の離島、古宇利島の離島苦の解消、地域活性化を目的に、**今帰仁村古宇利**と名護市運天原とを結節する「**古宇利大橋**」の**完成**及び古宇利屋我地線の供用を目指します。（P44）【道路】

- 良質な住宅を供給することにより、市民の居住水準の向上を図ることを目的とする那覇市の「**市営繁多川**」の**完成**を目指します。（P45）【住宅】

- 老朽化の解消に併せ、高齢者、障害者等の住生活に対応した糸満市の「**県営浜川団地**」建替に**新規**に着手します。（P46）【住宅】

- 宇座海岸環境整備事業（再掲）
- 我喜屋生活貯水池（再掲）
- 儀間川総合開発事業（再掲）

### 【継続事業】

H16年度以降の主な継続事業は、**直轄1事業、補助10事業**。

（主要事業リスト P53参照）

※上記事業数は、「自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり」、「安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり」、「沖縄特有の豊かな自然環境の保全・創出」の継続事業として掲げた事業は除いております。

- |           |      |                      |
|-----------|------|----------------------|
| ●代表的な継続事業 | 補助事業 | 石垣港離島ターミナル再開発事業（P47） |
|           |      | 住宅地区改良事業（安慶名地区）（P48） |

## 【 成 果（ 指 標 ） 】

事業・施策により目指すべき成果（指標）を以下に示します。

なお、H16年度目標の提示は、H17年度の概算要求公表時等に併せて行います。

| 【 指 標 】                                              | H14（実績）  | H15（見込）      | H19（目標）        |
|------------------------------------------------------|----------|--------------|----------------|
| 土地区画整理事業の完了                                          | 50地区     | 52地区         | 約58地区          |
| 1日当たりの平均利用者が5,000人以上の<br>旅客施設の周辺等の主な道路のバリアフリ<br>ー化割合 | 21%      |              | 76%            |
| より安全に港を利用できる 利用者数                                    | 約240万人／年 | 約310万人／<br>年 | 約450万人／<br>年   |
| 港湾緑地の整備面積                                            | 約30ha    | 約30ha        | 約70ha          |
| 復元・創出された砂浜の面積（再掲）                                    | 約60ha    | 約70ha        | 約90ha          |
| 人々が海辺に親しむことの出来る海岸延長                                  | 約570km   | 約571km       | 約580km         |
| 官庁施設のバリアフリー化率                                        | 71%      | 76%          | 81%            |
| 離島における生活用水を安定的に確保する                                  | 約500人分／日 | 約500人分／<br>日 | 約1,400人分<br>／日 |
| ボランティアサポートプログラムの参加団<br>体数                            | 17団体     | 増加           | 増加             |

（注）指標の達成状況に関する注釈

| 【 指 標 】                                                 | 注 釈                                                       |
|---------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|
| 土地区画整理事業の完了                                             | 土地区画整理事業の完成による市街地への居住<br>地域の拡大目標                          |
| 1日当たりの平均利用者が5,000人以上の<br>旅客施設の周辺等の主な道路のバリアフリ<br>ー化割合（%） | 達成度報告書の公表（H16.6予定）に向け算出中<br>であり、H15.9時点（業績計画書）における目標<br>値 |
| 離島における生活用水を安定的に確保する。                                    | 我喜屋ダムなどの整備を進めているが、事業が<br>完了するまで効果が発現しない。                  |